

AUBADE SYMPHONIC WAVE 2023



昨年、大好評を博したポップス＆オーケストラによる音楽の祭典「AUBADE SYMPHONIC WAVE」を今年も開催！ 純爛豪華なコンサートをお届けします。指揮は国内外のクラシック界で今注目の柳澤寿男さん。国内・欧州の名手たちが結集したオーケストラ・アンサンブル金沢を率います。そして、華麗でダイナミックなオーケストラと競演するのは、日本のポップス音楽シーンを彩るアーティストたち。今回初出演となるアーティストから、稲垣潤一さん、森高千里さんのお二人に本公演への思いについてメールインタビューを行いました。



02

オーバード・ホールが贈る、一度きりの贅沢な響演。

稻垣 潤一

interview

—『SYMPHONIC WAVE 2023』での見どころ、聴きどころを教えていただけますか。

オリジナルサウンドとは異なり、全て生楽器で演奏されます。その有機的な音の流れに僕の歌をどうのせることができるか。楽しめでもありますし、ちょっと緊張感もあります。良い緊張感を保ちながら、オーケストラ皆さんと一緒に息を合わせて歌わせていただきます。

—オーケストラとの共演への思いや特別な心構えはありますか。

バンドからキャリアをスタートさせ、昨今、色々なジャンルの方とコラボレーションさせていただいている。その都度、気付きや発見もありますが、自分が目指す“いいうた”を歌うことには全力を傾けています。

—「歌うこと」として「叩き語り」についてお聞かせください。

歌うことは、大袈裟にいえば、人生のミッションだと思います。叩き語りは、今や絶滅危惧種のように少なくなっています。年とともに大きな部分もあります。しかし、叩き語り、一生やっていくつもりです。

—東北楽天ゴールデンイーグルスのファンクラブ名誉会員であり、カーレースのチーム監督のご経験など、音楽に加え多岐に渡り活動されていますが、「いま」ご興味のあることは。

岡山で開催されるラリーイベント「ベッキオ・バンビーノ」に何度も参戦させてもらいました。ただ、最近はスケジュールが合わず参戦できませんが、また参戦したいものです。今は、ステージ上にはドラムセットしかない、「一人叩き語り」を計画中です。伴奏は、Seq（シーケンス）が受け持ります。あまり見かけないライブになると思いますが、いつお披露目できるかタイミングを見計らっています。

稻垣潤一 Junichi Inagaki

1953年7月9日生まれ、仙台市出身。中学時代から本格的なバンド活動を始める。高校卒業後、ライブハウス、ディスコ、米軍キャンプなど様々な場所でライブ活動をする中、ドラムを叩きながらのボーカルというスタイルで注目を浴び、1982年「雨のリグレット」でデビュー。「ドラマティック・レイン」(1982)や「夏のグラクション」(1983)「クリスマスキャロル」の頃には(1992)他、数々のヒット曲で日本を代表するAORシンガーとしての地位を確立。



—それに共通することは、何でしょう。

ワクワクすることをやっていきたい、そこが活動の基本と考えています。

—近年も富山へご来訪されていますが、印象は。

2019年以来のコンサートになりますが、白エビが好きで、特に白エビのかき揚げが好物です。もちろんホタルイカも好きですね。この時期は、やはり寒ブリでしょうか。食の話題ばかりになってしましましたが(笑)時間があればゆっくり観光もしたいものです。

—富山の皆さんへメッセージをお願いします。

久々の富山でのライブを楽しみにしています。皆さんも、僕の代表曲がどう生まれ変わるか、お楽しみください。

森高 千里

interview

—『SYMPHONIC WAVE 2023』への意気込みや、特別な心構えはありますか。

オーケストラの皆さんと共演するのは、私の場合経験が少ないので、いつものステージよりも緊張すると思いますが…迫力満点の演奏で歌えることを楽しみにしています。

—森高さんの書かれる詞は個性的でコケティッシュさを感じられます。作詞のインスピレーションが湧くのはどのようなときですか。

最近は作詞はしていませんが、以前は曲をもらって何度も聞いてそのイメージで作詞をしていました。ほとんどひらめきみたいな感じで書いていましたね。

—デビュー35年。歌声も美貌もいつまでも瑞々しく魅力的です。秘訣を教えてください。

とにかくコンサート(LIVE)が大好きなので、大好きな歌をステージで歌って踊っていられることが元気の源だと思います。

—昨年(2022年5月)もツアーで富山へご来訪されていますが、印象はいかがですか。

2022年は魚津市でのコンサートでしたが、とっても皆さんノリが

迫力満点の演奏で歌えることを楽しみに



森高千里 Chisato Moritaka

1969年生まれ、熊本県出身。幼少期からピアノを習い、高校時代にドラムを始める。1987年5月25日シングル「NEW SEASON」でデビュー。楽曲「ミーハー」から作詞を始める。2022年5月25日にデビュー35周年を迎える。35周年のコンサートを行なっている。レギュラー：フジテレビ系「Love Music」、ニッポン放送「オールナイトニッポンMUSIC10」第2水曜日。

良くて、盛り上げてくださいました。とっても楽しいコンサートでした。本番前に蜃気楼を見に港に行ったんですが、残念ながら見ることはできませんでした。「ほたるいか飯」がめちゃくちゃ美味しい驚きました。また食べたいですね。

—富山の皆さんへメッセージをお願いします。

富山でまたコンサートに参加できてとても嬉しいです。ぜひ、皆さん楽しんでくださいね!!

公演情報

令和4年度富山県企業メセナ文化ホール事業 特別協賛：トヨタモビリティ富山株式会社

AUBADE SYMPHONIC WAVE 2023

◆日時：2023年2月23日(木・祝) 15:00 開演 指揮：柳澤 寿男
◆会場：オーバード・ホール 管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢



出演

ASKA

岩崎 宏美

稲垣 潤一

KAN

佐藤 竹善

森高 千里

川井 郁子

◆チケット：[全席指定・税込]

一般：7,000円 U-25：3,000円

※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。

※未就学児入場不可。

完売しました

トヨタモビリティ富山株式会社様のご協賛をいただき、富山県内在住の小中高生200名様を本公演にご招待します。※ご応募の受付は終了しております。

◆プレイガイド：アスネットカウンター

★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。

※やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。